



王一だより

令和3年3月号
北区立王子第一小学校
校長 荒木 康子

教育目標 **な** 仲良く助け合う子 **か** 身体をきたえ元気な子 **よ** よく考え最後までやりぬく子 **し** 親切で礼儀正しい子

季 とき

校長 荒木 康子

2月中旬から、2階の廊下にひな人形が飾られています。毎年、PTA学級委員のみなさんが「子供たちの健やかな成長と幸せを願い」8段飾りの豪華なひな人形を大切に飾ってくださっています。

早いもので令和2年度も最後の月となりました。この^{とき}季を迎え、例年以上に感謝の思いを実感しています。まずは、新型コロナウイルス感染症防止対応に追われた一年でしたが制限ある教育活動や行事においても、保護者の皆様には、ご理解とご協力をいただき、ときには温かい励ましのエールをいただきましたことに心より感謝申し上げます。

思い返せば、臨時休校から始まり、イレギュラーな一年となりました。様々な制限の中、これまで当たり前前を当たり前前にできたことが、どんなに素晴らしいことなのか思い知らされた一年間でもありました。新しい生活様式を取り入れながら、やり方を工夫してきました。何度も練り直しながら、できる範囲の中での最善を尽くし、教育活動を続ける努力をしてきました。教職員もそれぞれの立場で、子供たちのことを一番に考えて、指導や業務にあたってきました。

何が正解なのか答えのない中、確かにいえることは、日々の子供たちの笑顔に励まされながら進んできた一年間でした。年度の終わりを迎える季に、子供たちがそれぞれに成長した姿を見せてくれていることに心から感謝し、同時に、新たな年度に続く成長と活躍を期待しています。

春の季は、感謝にあふれ、そして、別れと出会いの季節でもあります。今年は106名の6年生が卒業を迎え、それぞれの進学先に向かって羽ばたいていきます。別れは寂しいことでもあります。次のステップに向かう旅立ちの機会であり、新しい出会いの季でもあります。それぞれの新しい場所で、自分をさらに磨き上げ成長して行ってほしいと願います。6年生を送る会では、在校生から感謝とあこがれのメッセージがたくさん届けられました。在校生にとってあこがれの存在となっていることの証です。その成長した姿を見るたびに、卒業の季に一步ずつ近づいていることを実感しています。

最後になりますが、次年度に向けて、学校は感染症とどのように向き合っていくかという課題は、未だ、解決していません。With コロナの時代と言われますが、今後も気を緩めず、感染防止対策を優先させながら、より充実した教育活動となるよう努力を惜しまず教職員一丸となって進めてまいります。

《卒業式について》

- ・保護者は、1名のみ参加
 - ・教育委員会告示は紙面にて配布
 - ・来賓は、PTA会長のみ
 - ・祝電は紹介せず、掲示のみ
 - ・卒業生は、授与時のみマスクを外す
- 24日 在校生代表5年生との卒業式
25日 保護者の皆様との卒業式